

令和 8 年 7 月 2 3 日

交 通 事 故 概 況

令和 8 年 6 月 末 計 上 数 (確 定 数)

警 察 本 部 交 通 部 交 通 企 画 課

北海道の交通事故概況（6月末計上数（確定数））

1 令和8年6月末の交通事故発生状況

区分\内容	6月中	前年比	6月末	前年比
発生件数（件）	636	67	4,409	605
死者数（人）	5	0	34	-15
傷者数（人）	749	112	5,239	845

[過去10年、6月末の推移]

区分\年別	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	過去平均		R8年
											10か年	5か年	
6月中死者数	10	17	6	11	10	13	5	10	11	5	10	9	5
6月末死者数	62	58	62	53	54	52	43	43	41	49	52	46	34
年間死者数	158	148	141	152	144	120	115	131	104	129	134	120	

都道府県別（6月中）

順位	1	2	3	4	5	11
都道府県名	大阪	千葉	愛知	東京	神奈川	北海道
死者数	13	12	11	8	7	5

都道府県別（6月末）

順位	1	2	3	4	5	11
都道府県名	神奈川	愛知	東京	兵庫	千葉	北海道
死者数	68	67	65	60	58	34

2 交通死亡事故の発生状況（主なもの）

(1) 6月中の死亡事故（死者5人）

- 事故類型別：人対車両が3人(60.0%)が車両単独2人(40.0%)
- 道路別：国道が2人(40.0%)、道道、高速道路が各々1人(20.0%)
- 地形・道路形状別：市街地直線が2人(40.0%)、市街地交差点、非市街地直線、非市街地カーブが各々1人(20.0%)
- 発生時間別：14～16時が2人(40.0%)、10～12時、20～22時、22～24時が各々1人(20.0%)
- 第一当事者年齢別：40歳代運転者が3人(60.0%)、50歳代運転者、高齢運転者が各々1人(20.0%)
- 第一当事者違反別：前方不注意が3人(60.0%)、操作不適が1人(20.0%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が3人(60.0%)、16～19歳、40歳代が各々1人(20.0%)

(2) 6月末の死亡事故（死者34人）

- 事故類型別：
 - ・人対車両が15人44.1%（うち歩行者妨害が6人40.0%、前方不注意が4人26.7%）
 - ・車両単独が12人35.3%（うち操作不適、前方不注意が各々3人25.0%）
- 道路別：
 - ・国道が11人32.4%（うち人対車両が5人45.5%、正面衝突が4人36.4%）
 - ・道道が9人26.5%（うち車両単独が5人55.6%、人対車両が2人22.2%）
 - ・市町村道が9人26.5%（うち人対車両が6人66.7%、車両単独が2人22.2%）
- 地形・道路形状別：
 - ・市街地交差点が10人29.4%（うち人対車両が8人80.0%）
 - ・市街地直線が9人26.5%（うち人対車両が5人55.6%、車両単独が4人44.4%）
- 発生時間別：
 - ・8～10時が6人17.6%（うち車両単独が3人50.0%、人対車両、正面衝突、出会い頭が各々1人16.7%）
 - ・18～20時が5人14.7%（うち人対車両が5人100.0%）
- 第一当事者年齢別：
 - ・高齢運転者による死者が12人35.3%（うち車両単独が6人50.0%、人対車両、正面衝突が各々3人25.0%）
 - ・若年運転者(25歳未満)による死者が6人17.6%（うち人対車両、車両単独が各々2人33.3%）
 - ・40代運転手による死者が6人17.6%（うち人対車両が5人83.3%）
- 第一当事者違反別：
 - ・前方不注意が9人26.5%（うち人対車両が4人44.4%、車両単独が3人33.3%）
 - ・歩行者妨害が6人17.6%（うち人対車両が6人100.0%）
 - ・操作不適が6人17.6%（うち車両単独が3人50.0%、正面衝突が2人33.3%）
- 死者年齢別：
 - ・高齢者の死者が21人61.8%（うち人対車両が11人52.4%、車両単独が6人28.6%）
 - ・20～24歳の死者が3人8.8%（うち正面衝突、出会い頭、車両単独が各々1人33.3%）
 - ・50歳代の死者が3人8.8%（うち車両単独が2人66.7%、踏切事故が1人33.3%）
- シートベルト非着用者：
 - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者18人中、シートベルト非着用者は12人(66.7%)であり、その9人(75.0%)がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。
- 5月末30日死者：
 - 歩行者が6人、交通事故発生後24時間以上30日以内に死亡している。

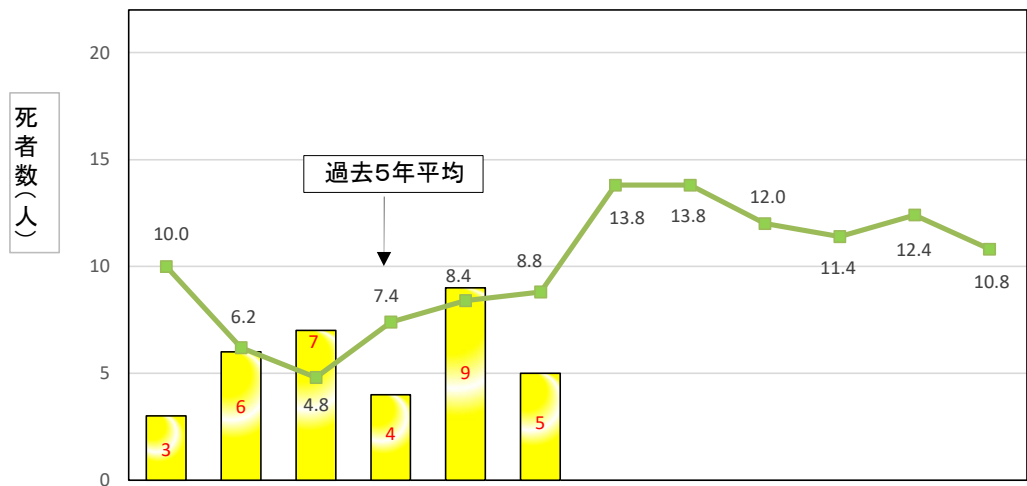
(3) 方面別発生状況

6月中の死者数は、札幌方面が3人(60.0%)、函館方面、釧路方面が各々1人(20.0%)となっている。
6月末の死者数は、札幌方面が19人(55.9%)、釧路方面7人(20.6%)、函館方面、旭川方面が各々3人(8.8%)、北見方面が2人(5.9%)となっている。

方面別\区分		発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比
6月中	全道	636	67	5		749	112
	札幌方面	453	41	3	1	522	62
	函館方面	52	10	1	1	65	17
	旭川方面	55	13			74	28
	釧路方面	64	9	1		76	14
	北見方面	12	-6		-2	12	-9
6月末	全道	4,409	605	34	-15	5,239	845
	札幌方面	3,330	545	19	-5	3,958	753
	函館方面	265	16	3		329	22
	旭川方面	412	51	3	-2	494	76
	釧路方面	300	-7	7	-4	338	-8
	北見方面	102		2	-4	120	2

(4) 月別発生状況の推移

6月中の死者数は5人で過去5年平均8.8人を下回っている。
6月末の死者数は34人で過去5年平均45.6人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和8年	3	6	7	4	9	5							34
年間累計	3	9	16	20	29	34							
過去5年平均	10.0	6.2	4.8	7.4	8.4	8.8	13.8	13.8	12.0	11.4	12.4	10.8	119.8
累計平均	10.0	16.2	21.0	28.4	36.8	45.6	59.4	73.2	85.2	96.6	109.0	119.8	

(5) 都道府県別死者数

6月中は大阪府が13人で最も多く、次いで千葉県が12人、愛知県が11人、東京都が8人、北海道は5人で11位となっている。
6月末は神奈川県が68人で最も多く、次いで愛知県が67人、東京都が65人、兵庫県が60人、千葉県が58人、北海道は34人で11位となっている。

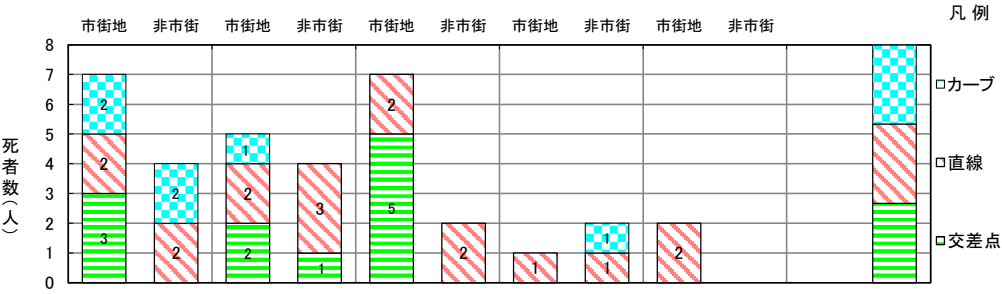
区分\都道府県	大阪	千葉	愛知	東京	神奈川	兵庫	鹿児島	埼玉	岡山	長野	全国	北海道
6月中死者数	13	12	11	8	7	7	7	6	6	6	174	5
ワースト順位	1	2	3	4	5	5	5	8	8	8	-	11
前年比	5	2	5	-6	3	-1	3	-1	5	2	-5	0
増減率(%)	62.5	20.0	83.3	-42.9	75.0	-12.5	75.0	-14.3	500.0	50.0	-2.8	0.0

区分\都道府県	神奈川	愛知	東京	兵庫	千葉	茨城	大阪	福岡	埼玉	静岡	全国	北海道
6月末死者数	68	67	65	60	58	52	51	44	40	36	1,162	34
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	11
前年比	5	17	-3	18	1	10	-7	3	-16	3	1	-15
増減率(%)	7.9	34.0	-4.4	42.9	1.8	23.8	-12.1	7.3	-28.6	9.1	0.1	-30.6

3 6月末の死亡事故の特徴

(1) 道路別

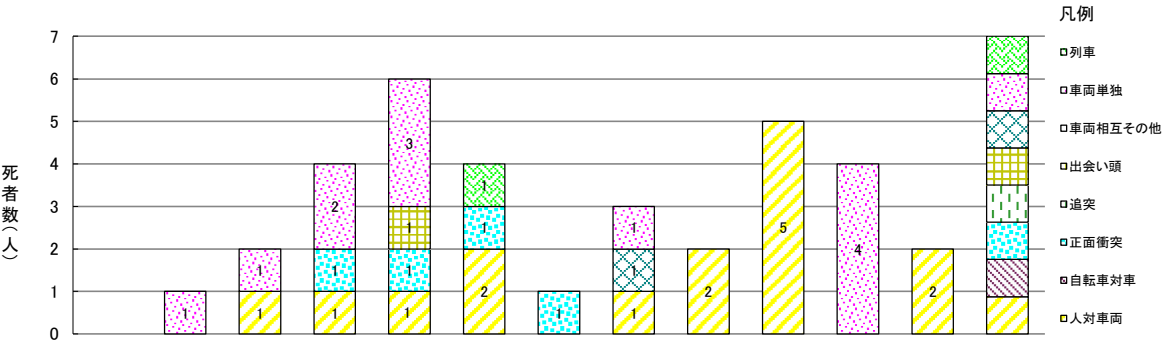
- 国道が11人(32.4%)、道道、市町村道が各々9人(26.5%)となっている。
- ・ 国道は、市街地交差点が3人(27.3%)、市街地直線、市街地カーブ、非市街地直線、非市街地カーブが各々2人(18.2%)
 - ・ 道道は、非市街地直線が3人(33.3%)、市街地交差点、市街地直線が各々2人(22.2%)
 - ・ 市町村道は、市街地交差点が5人(55.6%)、市街地直線、非市街地直線が各々2人(22.2%)



区分\道路別	国 道	道 道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死 者 数	11	9	9	3	2	34
構 成 率 (%)	32.4	26.5	26.5	8.8	5.9	100.0
過去5年構成率	36.4	22.4	30.3	3.9	7.0	100.0

(2) 時間別

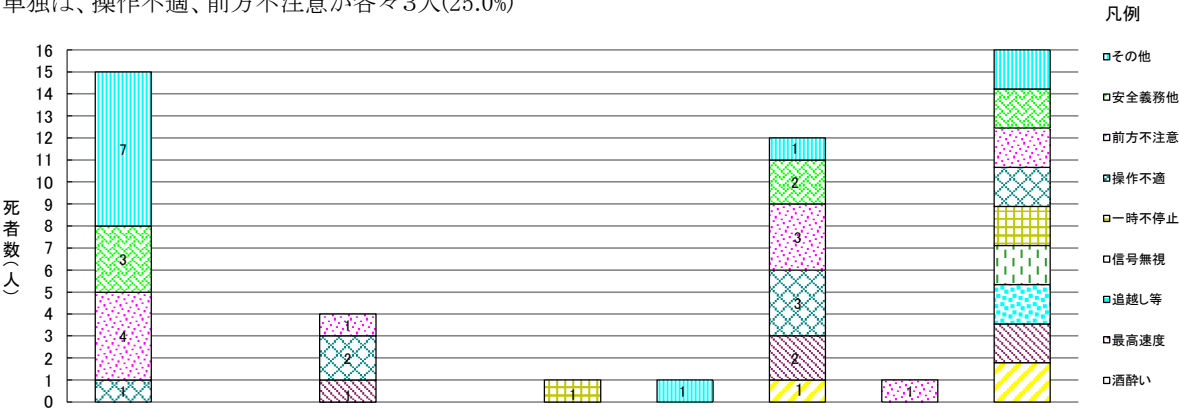
- 8～10時が6人(17.6%)、18～20時が5人(14.7%)となっている。
- ・ 8～10時は、車両単独が3人(50.0%)、人対車両、正面衝突、出会い頭が各々1人(16.7%)
 - ・ 18～20時は、人対車両が5人(100.0%)



区分\時間別	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	計
死 者 数		1	2	4	6	4	1	3	2	5	4	2	34
構 成 率 (%)		2.9	5.9	11.8	17.6	11.8	2.9	8.8	5.9	14.7	11.8	5.9	100.0
過去5年構成率	3.1	2.6	5.3	7.5	11.4	14.0	14.0	11.4	9.2	9.2	8.3	3.9	100.0

(3) 事故類型別

- 人対車両が15人(44.1%)、車両単独が12人(35.3%)となっている。
- ・ 人対車両は、その他(歩行者妨害を含む)が7人(46.7%)、前方不注意が4人(26.7%)
 - ・ 車両単独は、操作不適、前方不注意が各々3人(25.0%)



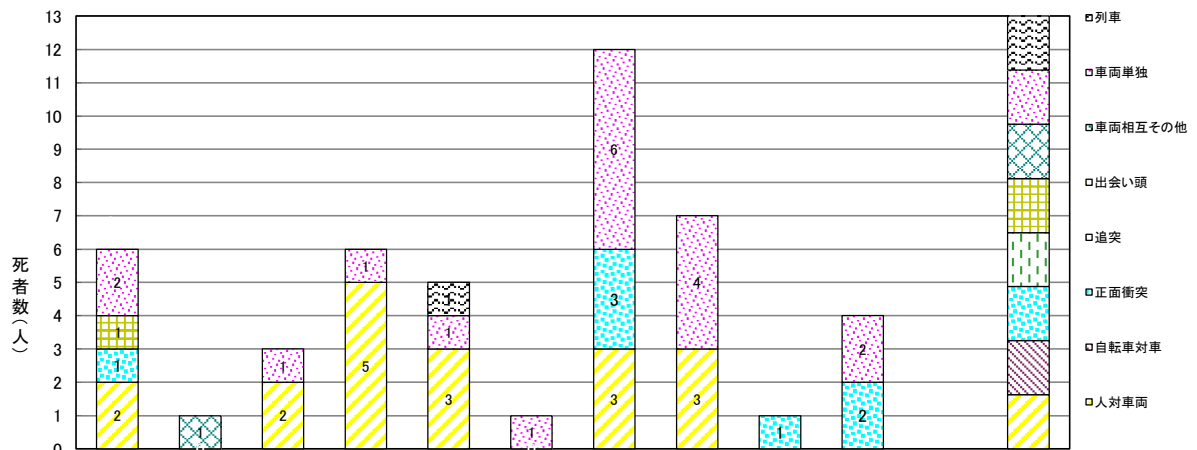
類型別	人対車両	自転車対車	車 両 相 互				車両単独	列 車	計
区分\			正面衝突	追 突	出会い頭	その他			
死 者 数	15		4		1	1	12	1	34
構 成 率 (%)	44.1		11.8		2.9	2.9	35.3	2.9	100.0
過去5年構成率	29.4	4.4	21.1	1.3	8.8	3.5	31.1	0.4	100.0

(4) 第一当事者の年齢層別:

高齢運転者が12人(35.3%)、若年者(25歳未満)、40歳代の運転者が各々6人(17.6%)

- ・ 高齢運転者は、車両単独が6人(50.0%)、人対車両、正面衝突が各々3人(25.0%)
- ・ 若年運転者は、人対車両、車両単独が各々2人(33.3%)
- ・ 40歳代運転者は、人対車両が5人(83.3%)

凡例



区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	歩行者等・不明	計
死者数	6	1	3	6	5	1	12	7	1	4		34
構成率(%)	17.6	2.9	8.8	17.6	14.7	2.9	35.3	20.6	2.9	11.8		100.0
過去5年構成率	5.7	3.9	5.3	18.0	14.9	9.6	36.8	12.7	8.3	15.8	5.7	100.0

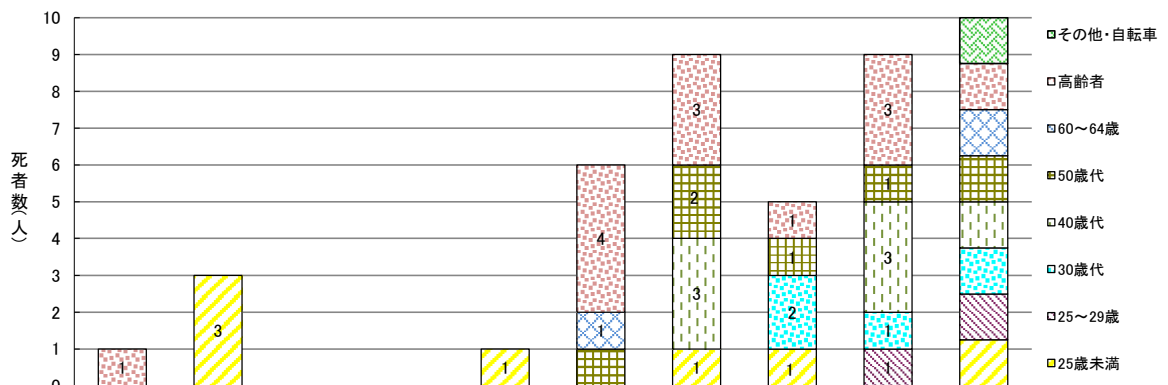
構成率は全死者に対する割合

(5) 第一当事者の違反

前方不注意、その他(歩行者妨害を含む)が各々9人(26.5%)となっている。

- ・ 前方不注意は、40歳代運転者、高齢運転者による死者が各々3人(33.3%)
- ・ その他(歩行者妨害を含む)は、40歳代運転者、高齢運転者による死者が各々3人(33.3%)

凡例



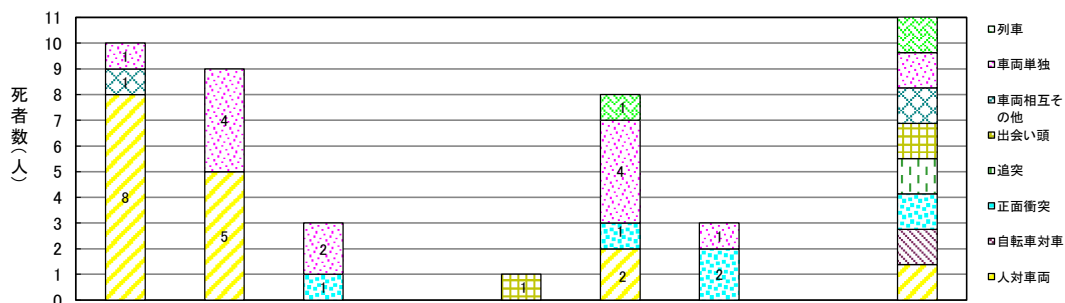
区分\原因別	酒酔い	最高速度	追越し等	信号無視	一時不停止	安全運転義務違反			その他	計
						操作不適	前方不注意	その他		
死者数	1	3			1	6	9	5	9	34
構成率(%)	2.9	8.8			2.9	17.6	26.5	14.7	26.5	100.0
過去5年構成率	1.8	8.3	1.3	3.9	3.5	14.5	32.9	12.7	21.1	100.0

(6) 地形・道路形状別

市街地交差点が10人(29.4%)、市街地直線が9人(26.5%)となっている。

- ・ 市街地交差点は、人対車両が8人(80.0%)
- ・ 市街地直線は、人対車両が5人(55.6%)、車両単独が4人(44.4%)

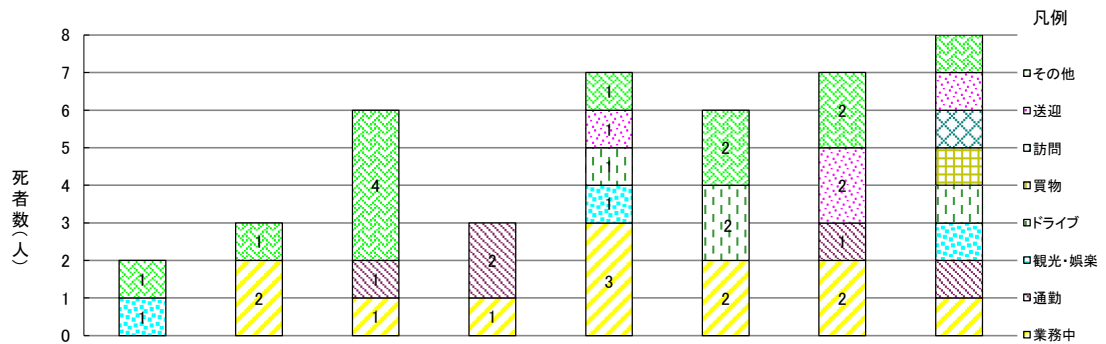
凡例



地形道路形状別 区分\	市街地				非市街地				計
	交差点	直線	カーブ	小計	交差点	直線	カーブ	小計	
死者数	10	9	3	22	1	8	3	12	34
構成率(%)	29.4	26.5	8.8	64.7	2.9	23.5	8.8	35.3	100.0
過去5年構成率	30.3	18.4	3.9	52.6	6.1	24.6	16.7	47.4	100.0

(7) 曜日別

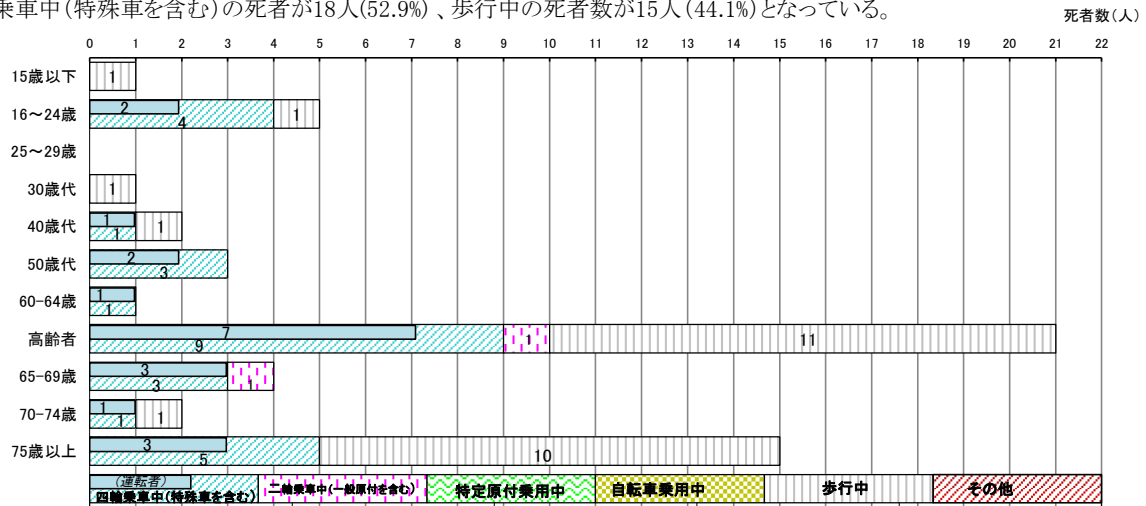
- 木曜日、土曜日が各々7人(20.6%)となっている。
- ・木曜日は、業務中が3人(42.9%)、観光、ドライブ、送迎が各々1人(14.3%)
 - ・土曜日は、業務中、送迎が各々2人(28.6%)



区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	2	3	6	3	7	6	7	34
構成率(%)	5.9	8.8	17.6	8.8	20.6	17.6	20.6	100.0
過去5年構成率	16.7	13.6	17.1	11.8	12.7	15.4	12.7	100.0

(8) 状態別・年齢層別

年齢層別死者数では、高齢者の死者が21人(61.8%)、16～24歳の死者が5人(14.7%)となっている。
四輪乗車中(特殊車を含む)の死者が18人(52.9%)、歩行中の死者数が15人(44.1%)となっている。



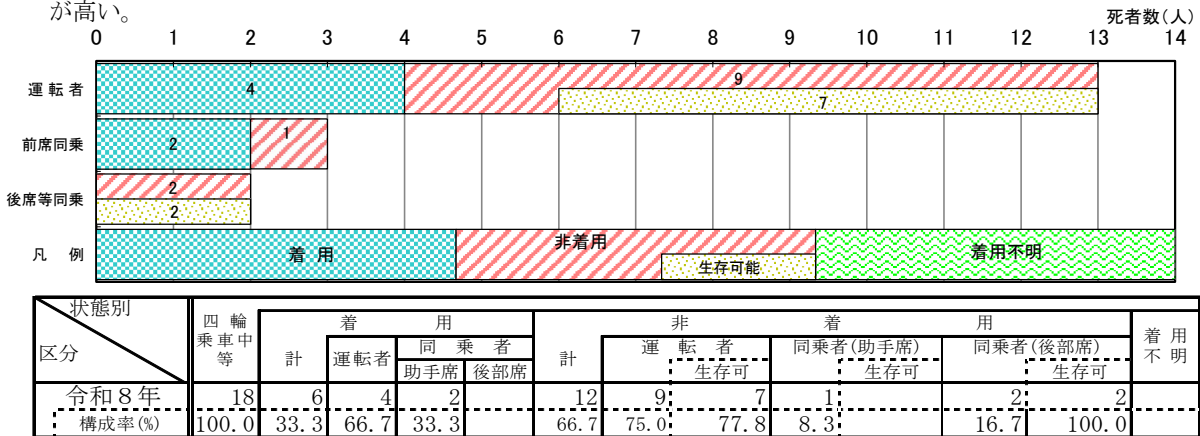
状態別 年齢層別		四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (一般原付を含む)	特定原付乗車中	自転車乗車中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
15歳以下	死者数					1		1	2.9	2.2
16～24歳	死者数	4				1		5	14.7	2.2
25～29歳	死者数									1.3
30歳代	死者数					1		1	2.9	6.1
40歳代	死者数	1				1		2	5.9	10.1
50歳代	死者数	3						3	8.8	14.0
60～64歳	死者数	1						1	2.9	7.9
高齢者	死者数	9	1			11		21	61.8	56.1
65～69歳	死者数	3	1					4	11.8	11.8
70～74歳	死者数	1				1		2	5.9	10.5
75歳以上	死者数	5				10		15	44.1	33.8
計	死者数	18	1			15		34	100.0	
	構成率	52.9	2.9			44.1		100.0	—	—
	過去5年構成率	56.1	7.0		6.1	29.8	0.9	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

四輪乗車中の死者18人中、シートベルト非着用者は12人(66.7%)となっている。
非着用者の12人のうち9人(75.0%)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、高齢者が6人(50.0%)、25歳未満、50歳代が各々2人(16.7%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
ヘルト着用	2				1		3	1	1	1		6
構成率(%)	33.3				16.7		50.0	16.7	16.7	16.7		100.0
ヘルト非着用	2			1	2	1	6	2		4		12
構成率(%)	16.7			8.3	16.7	8.3	50.0	16.7		33.3		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者12人の損傷加害部位をみるとハンドルが5人(41.7%)、計器盤、ドア・窓、座席が各々2人(16.7%)となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	Fガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	室内他	シートベルト	他・不明	計
ヘルト着用			1		1			1	1	2			6
構成率(%)			16.7		16.7			16.7	16.7	33.3			100.0
ヘルト非着用	1		5		2	2			2				12
構成率(%)	8.3		41.7		16.7	16.7			16.7				100.0
運転者	1		5		1	1			1				9
構成率(%)	8.3		41.7		8.3	8.3			8.3				75.0
同乗者					1	1			1				3
構成率(%)					8.3	8.3			8.3				25.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。